

おおむた 市議会だより

平成23年度
第3回定例会
第178号

平成23年(2011年)
11月1日発行

インターネット議会中継配信中

市議会のホームページはこちら <http://www.city.omuta.lg.jp/shigikai/>

大牟田市議会

検索



- 開かれた議会に向けての第一歩
初の議会報告会(2・3ページ)
- 補正予算約4億円を可決
本会議運営のあらまし(5ページ)
- 他都市から注目されている
大牟田市の取り組みは？
トピックス(12ページ)

もうすぐ食べごろ 大牟田特産「上内みかん」

早生温州みかんの栽培は大牟田が発祥だといわれています(昭和11年ごろ)。小粒で食べやすく、甘くて味が濃い。この特性を生かして、このみかんを使ったお菓子もつくられています。10～12月が収穫期で、すでに店頭に並び始めています。道の駅「おおむた」花ぷらす館でも販売されます。

も く じ

- | | |
|---|--|
| ■ぎかいのわだい…………… 2
開かれた議会に向けての第一歩 ～初の議会報告会～
【連載】議員のよこ顔 | ■発言者通告一覧、代表質問ほか …… 6
発言者通告一覧、議会日誌、人事議案、代表質問(5人) |
| ■委員会レポート…………… 4
教育厚生委員会、都市環境経済委員会、総務委員会、
議会改革特別委員会 | ■一般質問ほか…………… 10
一般質問(7人)、インフォメーション |
| ■本会議運営のあらまし、議案等の審議結果 …… 5 | ■トピックス…………… 12
大牟田市への行政視察
～他都市から注目されている大牟田市の取り組みは？～
他議会からの行政視察、編集後記 |

初の議会報告会

開かれた議会に

大牟田市議会では、初の議会報告会を10月5日から21日まで、市内8カ所において開催しました。

多数の参加と貴重な意見をいただき、ありがとうございました。いただきました貴重な意見は、市政への反映に努めていきます。

■議会改革の重要な取り組みの一つ

この報告会は、本年2月に施行された大牟田市議会基本条例に基づき、議会として皆さんがお住まいの地域で議会活動を報告し、市民の皆さんからの意見もお聞きし、市政への反映に努めることを目的として行いました。

報告会では、これまでの議会改革の取り組みと、本市の主要事業について報告し、その後、参加者の皆さんからの質問や意見をいただきました。

■議会改革の取り組みや本市の主要事業を報告

第1部では、平成22年度の主な議会活動と議会改革の取り組みについて報告しました。議会活動に関しては、平成22年度に可決した主な議案や委員会視察の報告、議会改革に関しては、議会基本条例制定の経過や具体的な議会改革の取り組み（政策等調整委員会の設置、委員会再編など）について報告しました。

第2部では、本市が進めている主要な事業として、①世界遺産登録推進事業 ②工業団地整備事業 ③（仮称）中心市街地にぎわい交流施設整備事業の3事業について、それぞれの事業の目的、スケジュール、費用、出された議会意見等について報告しました。

三川地区公民館(写真上)と駿馬地区公民館(写真下)における議会報告会



議員のよこ顔(その2)

(番号の見方) ①年齢 ②住所 ③趣味・特技 ④座右の銘
⑤大牟田のことが好き ⑥長所・短所など



高口 講治
議員

①60歳 ②歴木 ③山登り 北アルプス、穂高連峰に6回登りました ほか、散策、釣り、写真 ⑤山あり海ありの自然あふれる大牟田が好き ⑥長所は口が悪いがやさしいところ 短所は頑固でケセラセラのところ



猿渡 軍紀
議員

①73歳 ②手鎌 ③ゴルフ、カラオケ ④「誠心誠意」 ⑤市民のやさしさ(心) ⑥市議会議員6期目、21年目に入りました 監査委員の役目もしっかり果たしていきたいと思っています



境 公司
議員

①64歳 ②岩本 ③スポーツをするのも観戦するのも好きですね 大学時代はラグビーをやっていました 観る方は水泳や陸上、大相撲など ④「誠」 ⑤自然災害の少ないまちなので、そういう意味では安心して暮らせるまち ⑥長所は食べ物の好き嫌いが少ないところ 短所は短気なところ



塩塚 敏郎
議員

①53歳 ②恵比寿町 ③映画鑑賞、高校生のときからバンド活動 担当はドラム ④「今日のあとに今日はなし」坂本龍馬が好きなんです ⑤祭り好きで人情味があるところ ⑥人の話はよく聞かすが、頑固 しかし最近、孫ができて眉間のシワがうすくなったような気が!

向けての第一歩

たくさんの参加と貴重な意見
ありがとうございました。

■多岐にわたるご意見

会場では、今回報告した内容に関する多数の意見をいただきました。さらに、地域が抱える課題や、市政全般への要望など、幅広い分野にわたる意見をいただき、議会として早急に改善を求めていくべきとする意見もありました。

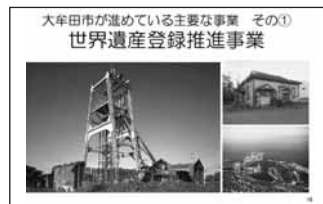
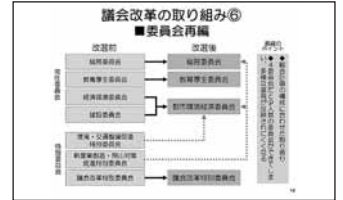
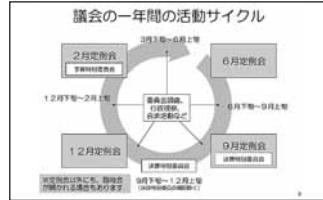
寄せられた意見につきましては、現在、議会で集計・分類を行っており、関係する委員会で継続して検討を行うなどしていきます。また、会場で記入いただいたアンケートも集計して、次回の報告会開催に向けて参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

■市内8カ所で開催しました

10/5 三川地区公民館、10/6 駛馬地区公民館、10/16 三池地区公民館、10/17 勝立地区公民館、10/18 労働福祉会館、10/19 吉野地区公民館、10/20 手鎌地区公民館、10/21 総合福祉センター

報告会で使用したスライド（イメージ）

（ホームページで公開予定です）



■さらに開かれた議会をめざします

委員会等の開催予定日時と議題をホームページで公表しています。市民の皆さんも、次の要領で傍聴できます。

会場が議場以外の場合 会議当日の8時30分から会議開始10分前まで、議会事務局で受け付けます。定員は5名です。定員を超えた場合は抽選を行います。

会場が議場のとき 受付の必要はありません

詳しくはホームページをご覧ください。または議会事務局までお問い合わせください。

（番号の見方） ①年齢 ②住所 ③趣味・特技 ④座右の銘 ⑤大牟田のことが好き ⑥長所・短所など



城後 正徳
議員

①70歳 ②通町 ③今は余りできませんがゴルフを少々 ④思いやり ⑤おおむた大蛇山まつり ⑥市民が安全で良い環境で暮らせる上下水道をはじめ、都市基盤の整備、子供たちがいじめのない楽しく過ごせる地域社会を目指し、皆様と行政を繋ぎ、動かす役目を果たしたいと思います



田中 正繁
議員

①49歳 ②汐屋町 ③幕末維新や日本の歴史に「日本人の心」を学び、ゆかりの地を訪ねること ④「知恵は人にもらえ」、龍馬の精神「人のために働く」 ⑤三池港や甘木山から見る夕日はとてもきれいですよ ⑥長所は事務処理的なことを淡々とこなすところ 短所は他人に厳しく自分に甘いところ



田島 哲也
議員

①64歳 ②浜田町 ③山歩き、温泉めぐり ④「情けは人の為ならず」 ⑤山あり、海あり、地勢的に恵まれているところ 特に有明海の夕日は素晴らしいと思います ⑥短所は短気なところ



塚本 二作
議員

①66歳 ②音楽来 ③大使館勤務が長かったので英会話と独会話には自信があります ④「一寸の虫にも五分の魂」無用に生き物を殺してはいけない ⑤自分が生まれ育った故郷であること ⑥長所は強いて言えば、熟慮ある大胆 短所は長い自衛官勤務のせいか、くだらない冗談が言えません

市立病院の全体評価はA評価

教育厚生委員会

■市立病院の業務実績に関する評価結果

9月9日の委員会において、地方独立行政法人大牟田市立病院の平成22事業年度の業務実績に関する評価について報告を受けました。評価委員会から、7対1看護体制の確立、新人事給与制度の導入、がん診療に関する取り組み、安定した経営基盤の構築等が評価され、全体評価として、5段階評価（S、A、B、C、D）で2番目に高いA評価という高い評価を受けています。

■子ども大牟田検定について



8月11日の委員会において、子ども大牟田検定についての説明を受けました。同検定は、小・中学生が大牟田市についての理解・興味を深め、郷土学習の充実、郷土愛の醸成を図ることをねらいとしています。ガイドブックは、自然や優れた文化・伝統などを調べるための資料として作成されています。

●所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局

新大牟田駅を本市の玄関口としてふさわしいものに

都市環境経済委員会

■新大牟田駅観光情報発信等施設

新大牟田駅乗降客の利便性を高め、本市の観光振興を図るために、駅に隣接して観光情報発信等の機能を有する施設を整備することの説明を受けました。

この施設は、モニュメントやパネル、パンフレット等を利用した観光情報の発信、観光情報問い合わせ対応、土産及び特産品情報の発信・販売、イベント、交流スペースとしての活用が期待されます。



●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

旧市民会館跡地を売却します

総務委員会



中心市街地に位置し、活用が期待される
旧市民会館跡地（3,838.46㎡）

■自ら買い取り、提案事業を行う法人が対象

9月8日の委員会において、旧市民会館跡地（有明町1丁目）の購入希望者（法人に限る）に跡地活用の提案を求め、第一段階で優良提案者を選定し、第二段階で優良提案者の希望価格を開札して、最も高い価格を提示した事業者に売却する旨の報告を受けました。

応募受付は11月1日から来年1月31日まで。最低制限価格は2億6,440万円となっています。

●所管：議会改革に関すること

議会研修会を開催しました

議会改革特別委員会

■「議会改革、さらに一步」

大牟田市議会基本条例に基づき、議員の監視能力と政策形成能力向上を図ることを目的とした議会研修会を8月29日に開催し、議員をはじめ、市民、行政の関係者が聴講しました。法政大学の廣瀬克哉教授を招き、「議会改革、さらに一步」という演題で、北海道栗山町議会をはじめとする議会改革の先進事例、議会報告会の意義と効果等について講演されました。

廣瀬教授は、「議会が定期的に議会報告会で地域に来るということは、参加しない住民にとっても報告会が行われていることを知ってもらうだけでも意味がある」「住民意思の裏打ちがあると議会は強い。議場での討議が市民世論を作る」などと講演されました。



8月に実施した議会研修会



本会議運営のあらまし

■一般会計補正予算約4億1千万円を可決

平成23年度第3回定例会は、9月12日に招集され、9月27日までの16日間の会期で運営しました。今議会では提案された議案等は、決算の認定、補正予算、条例の制定などの議案19件、報告8件、人事議案2件（詳細7ページ）、請願1件、意見書案14件の合計44件でした。

一般会計補正予算は、新大牟田駅の観光情報発信等施設の設計委託費、安心安全まちづくり基金の積立、財政調整基金の積立など、合計約4億1千万円の増額を行う

ものです。条例議案は、安心安全まちづくり基金条例の制定、連帯保証人の要件を緩和した市営住宅条例の一部改正などです。本会議では12名の議員が登壇し、3日間にわたり、市長をはじめ、執行部に質問しました。（7ページ以降に各議員の主な質問内容を掲載）

最終日の本会議までに、議員派遣の決定を行うとともに、報告8件を除いた議案等を原案どおり可決、採択、認定、または設置された決算特別委員会において継続審査の取り扱いとするなどして、本定例会を閉会しました。

議案等の審議結果

■可決

【全会一致】賛成＝出席議員全員

- ・平成23年度大牟田市一般会計補正予算
- ・平成23年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成23年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
- ・平成23年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・大牟田市安心安全まちづくり基金条例の制定について
- ・大牟田市公営住宅下水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
- ・大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- ・財産の取得について（準用河川手鎌野間川河川用地）
- ・原子力発電からの脱却を求める意見書案
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書案
- ・学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書案
- ・原子力発電所における国の防災指針の見直しを求める意見書案
- ・大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書案
- ・東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染から、子供と国民の健康を守る対策を求める意見書案
- ・介護職員処遇改善交付金に関する意見書案
- ・燃油税制にかかる特例措置の恒久化に関する意見書案
- ・公立小・中学校の普通教室への空調設備設置の財源確保を求める意見書案

【賛成多数】賛成＝自民、公明、護憲、市民、城後

- ・自治体クラウドの推進を求める意見書案
- ・電力多消費型経済からの転換を求める意見書案

【賛成多数】賛成＝自民、公明、市民、共産、城後

- ・子ども・子育て新システムの法案提出の方針撤回を求める意見書案

【賛成多数】賛成＝自民、護憲、市民、共産、城後

- ・原子力発電からの撤退を決断し、エネルギー政策の転換を求める意見書案

【賛成多数】賛成＝自民、公明、市民、城後

- ・円高・デフレを克服する経済対策を求める意見書案

■認定

【全会一致】賛成＝出席議員全員

- ・平成22年度有明広域市町村圏協議会決算の認定について

■採択

【全会一致】賛成＝出席議員全員

- ・燃油税制にかかる特例措置の恒久化に関する請願

■報告を受けたもの

- ・平成22年度大牟田市一般会計予算継続費の精算について
- ・平成22年度大牟田市公共下水道事業会計予算継続費の精算について
- ・平成22年度大牟田市健全化判断比率について
- ・平成22年度大牟田市水道事業会計資金不足比率について
- ・平成22年度大牟田市公共下水道事業会計資金不足比率について
- ・地方独立行政法人大牟田市立病院の業務実績に関する評価結果について
- ・株式会社花ぶらすの事業報告について
- ・株式会社花ぶらすの事業計画について



道の駅「おおむた」
花ぶらす館

■継続審査（決算特別委員会に付託）

- ・平成22年度大牟田市一般会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市土地区画整理事業特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市老人保健特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市水道事業会計決算の認定について
- ・平成22年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について

賛成会派について

賛否が分かれた場合、その議案等に賛成した会派を掲載します。会派の略称は次のとおりです。無所属は姓を表示。なお、議長は採決に加わることはできません。

■自民＝自由民主党議員団（光田茂、入江裕二郎、境公司、田中正繁、

塚本二作、徳永春男、西山照清、森竜子、山口雅弘）■公明＝公明党議員団（大野哲也、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子）

■護憲＝社民・民主・護憲クラブ（古庄和秀、平嶋慶二、平山光子、松尾哲也、森田義孝）■市民＝おおむた・市民党（猿渡軍紀、田島哲也、吉田康孝）■共産＝日本共産党議員団（高口講治、北岡あや、橋

積和雄）■無所属＝城後正徳



発言者通告一覧

市議会第3回定例会発言者通告一覧

(赤い網掛け)は一問一答制により質問、(ピンクの網掛け)は再質問からの一問一答制により質問、★は7ページ以降に内容を掲載)

① 9月16日 田島哲也議員 代表質問 (おおむた・市民党)

■市長の政治姿勢について (1)★市長の3期目出馬に向けた決意 ■中心市街地の活性化について (1)★市街地再開発事業の進捗状況 (2)新中心市街地活性化基本計画 ■中小企業対策について (1)★中小企業の経営安定化に向けた取り組み ■近代化産業遺産の世界遺産登録への取り組みについて

② 9月16日 入江裕二郎議員 代表質問 (自由民主党議員団)

■市長の政治姿勢について (1)市政公約 ■★世界遺産登録への取り組み及び近代化産業遺産を活用したまちづくりについて ■行財政運営及び財政構造改革について (1)★適正な職員数 (2)公共施設の見直し ■★新栄町駅前地区市街地再開発とレマン跡活用計画との整合について ■校区まちづくり協議会について (1)★市職員の地域活動の必要性

③ 9月16日 高口講治議員 代表質問 (日本共産党議員団)

■市長の政治姿勢について (1)★国政評価と24年度予算編成 (2)行財政運営の今後の取り組み(案)、大牟田市財政構造強化指針(案)、職員配置適正化方針2011(案) ■介護保険制度について (1)★地域包括ケアシステムと次期介護保険事業計画 ■★住宅リフォーム助成制度の必要性と効果について ■★RDF発電事業と次期事業計画について ■まちづくりと中心市街地活性化について (1)★新栄町駅前地区市街地再開発構想と市の計画

④ 9月20日 平山伸二議員 代表質問 (公明党議員団)

■市長の政治姿勢について (1)★国政マニフェストと市政公約 (2)★地方自治体のPRE(公有資産)戦略 (3)経済・雇用対策 (4)★国民健康保険事業と健康づくり ■安心安全なまちづくりについて (1)★老朽家屋対策 ■大牟田文化会館を初めとする公共施設の利便性について (1)★駐車場の増設 (2)★大ホールのエレベーター設置

⑤ 9月20日 平山光子議員 代表質問 (社民・民主・護憲クラブ)

■市長の市政運営と今後のまちづくりについて (1)行財政運営とまちづくり (2)★新エネルギー産業の振興によるまちづくり (3)★男女が支え合う、子育て支援のまちづくり (4)(仮称)中心市街地にぎわい交流施設基本計画 ■小規模特認校制度の導入について ■子どもが主役の学校環境づくりについて (1)学校の耐震化 (2)★教室の猛暑対策 (3)★教職員の健康

⑥ 9月20日 塚本二作議員 一般質問 (自由民主党議員団)

■市長の政治姿勢について (1)★市長として常に必要な資質・心構え (2)市政に対する市民の満足度(過不足)の認識 (3)市長がとらえる打開すべき喫緊の行政課題(危機管理課題) ■さらなる行財政改革について (1)★財政構造強化指針(案) (2)職員配置適正化方針2011(案) ■地域コミュニティの形成強化について ■防災・減災対策の強化について (1)防災訓練 (2)ライフラインの確保 ■「働く場所」(雇用)の拡大策と取り組みの真剣度について (1)雇用拡大の見地から見た地場(地元)企業の現状と育成強化策 (2)外国企業も入れた企業誘致活動 (3)福祉職場における求人・求職者のミスマッチングの解消策

⑦ 9月20日 橋積和雄議員 一般質問 (日本共産党議員団)

■★世界遺産登録推進事業の取り組み及び近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン(素案)について ■原発問題について (1)玄海原発再稼働計画 (2)食材からの内部被曝対策 ■災害に強いまちづくりについて (1)地域防災計画の見直し (2)公共施設や学校などの耐震改修計画 ■筑後地域消防通信指令業務の共同運用の課題について ■国民健康保険について (1)保険税及び医療費負担の軽減

⑧ 9月21日 今村智津子議員 一般質問 (公明党議員団)

■災害に強いまちづくりについて (1)女性の視点を生かした避難所運営マニュアルの作成 (2)地域住民の避難所 (3)避難所での健康被害防止に当たっての段ボールベッドの活用 (4)災害用マンホールトイレの整備 ■認知症予防のための高齢者聴覚検診の導入について ■★熱中症対策としてのミストシャワーの設置について

⑨ 9月21日 森田義孝議員 一般質問 (社民・民主・護憲クラブ)

■市長の行政運営の総括と今後のまちづくりについて (1)雇用対策としての市職員採用 ■世界遺産登録推進事業について (1)文化財保護の基本的な考え方とまちづくり (2)文化財の保護状況と今後の対応 (3)今後の事業計画の策定 ■中学校給食について (1)基礎調査の進捗状況とその後の考え方 ■教育環境について (1)★快適な授業環境の整備 ■保育行政の充実について (1)今後の保育行政の基本的な考え方 ■安心した市民ボランティア活動について (1)★市民活動補償制度の導入

⑩ 9月21日 田中正繁議員 一般質問 (自由民主党議員団)

■夢のあるまちづくりと地域の活性化について (1)★3大プロジェクトを利用した今後のビジョン (2)★中心市街地と地域商店街の活性化 ■近代化産業遺産と観光資源の活用について ■安心して暮らせるまちづくりについて (1)地域コミュニティ (2)★学校の環境整備 (3)公共施設の整備

⑪ 9月21日 森 竜子議員 一般質問 (自由民主党議員団)

■九州新幹線新大牟田駅開業から半年後における総括と今後の展望について (1)★開業から半年後における市長の所感 (2)利便性の促進 (3)★観光情報発信等施設 ■安心安全のまちづくりにおける行政の役割について ■中学校給食について (1)★「大牟田方式」と今後のスケジュール ■小規模特認校制度と魅力ある学校づくりについて

⑫ 9月21日 境 公司議員 一般質問 (自由民主党議員団)

■大牟田市財政構造強化指針(案)について (1)税源の涵養 (2)総人件費の抑制 ■わくわくシティ基金について (1)★本来のあるべき姿 ■九州新幹線新大牟田駅周辺の開発状況について ■主要地方道南関大牟田北線の拡張について ■農業の振興策について (1)新規就農者(担い手)への対策 (2)新規農作物 (3)有害鳥獣(特にイノシシ)による被害対策

議会日誌 (7月～9月)

月	日	会 議 名
7	1	各派代表者会
	4	議会報編集委員会
	8	各派代表者会
	12	議会改革特別委員会
	13	議会報編集委員会
	27	議会改革特別委員会
8	4	総務委員会
	10	議会運営委員会
	11	教育厚生委員会、議会改革特別委員会
	30	議会改革特別委員会、各派代表者会
9	5	各派代表者会、議会運営委員会
	6	全員協議会、議会改革特別委員会
	7	議会報編集委員会

月	日	会 議 名
9	8	総務委員会
	9	教育厚生委員会、都市環境経済委員会
	12	第3回定例会本会議〔開会〕
	16	第3回定例会本会議〔質疑質問①〕、 請願等調整委員会
	20	第3回定例会本会議〔質疑質問②〕
	21	第3回定例会本会議〔質疑質問③〕、 請願等調整委員会
	22	総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会 各派代表者会、議会運営委員会
	27	第3回定例会本会議〔閉会〕 決算特別委員会、議会報編集委員会



■12人が登壇 近代化遺産は？ 中心市街地は？ (代表質問、一般質問)

市議会第3回定例会の質疑・質問は9月16日、20日、21日の3日間で行われ、近代化遺産の世界遺産登録への取り組み、財政健全化計画、職員配置適正化計画、中心市街地活性化、公立学校・施設の環境整備などの諸課題について、各会派の代表質問5人を含め、12人の議員が登壇し、市長をはじめ、執行部に質問しました。

■本会議における議会改革の取り組み

議会改革の一環として、質問がよりわかりやすいものとなるよう、平成23年2月定例会から、以下の取り組みを行っています。

1. 一問一答制の導入

質問と答弁がテンポよく、わかりやすくなるよう、一問一答制を導入しました。従来からの再質問からの一問一答制にも利点はあるため、選択制としました。

2. 質問時間の見直し

持ち時間は議員の発言時間に限定し、答弁の時間は除きました。その結果、一回の質問での持ち時間は代表質問45分、一般質問35分となりました。

3. 質問者席の設置

質問がわかりやすく、また議論が深まることを目的として、質問者は自席ではなく、最前列に設置した質問者席から質問を行うようにしました。



4. 発言通告書の詳細化

質問する議員が事前に提出する発言通告書は、質問の内容と論点がよりわかりやすくなるよう、抽象的な表題は避け、具体的に詳しく記入するよう改善しました。



財政健全化を図りながら 新たなまちづくりの方向性を

おおむた・市民党 田島 哲也議員

問 市長選3期目出馬に向けた決意を聞きたい。

答 今後のまちづくりの目標は、総合計画に掲げているいい、やすらぎ安心都市、活力と創意にあふれる産業都市、市民と歩む自立都市の三つの都市像の実現である。

実質収支の黒字化が図られたが、今後は三大プロジェクトを効果的に活用し、定住人口・交流人口の増加と、それに伴う賑わいと活気生まれる新たなまちづくりに取り組み、本市の活性化と振興に全力を傾注していく。

問 市街地再開発事業の進捗状況について聞きたい。

答 中心市街地では、そこに形成された業務や商業等の機能の充実を図るとともに、定住・交流人口の増加を図るなど、



活性化に寄与する事業を進め 新栄町の太陽光発電マンションていく必要がある。特に新栄町地区は、特急電車が停車し、一日の乗降客が約五千人ある西鉄新栄町駅がある交通結節点としての利便性が高い地区で、街なか居住を推進する必要がある。地元から提案された同駅前地区市街地再開発構想は、新栄町の機能更新等が描かれ、本市のまちづくりと同じ方向性を有していることから、市としても協力し、地元準備会の事業計画策定の指導・助言に努めてきた。今後も、事業実施に必要な都市計画等の手続きや補助事業の導入に積極的に取り組み、再開発事業を成功させ、まちづくりにつなげたい。

問 東日本大震災の影響による本市中小企業の経営安定化に向けた取り組みについて聞きたい。

答 東日本大震災復興緊急保証制度による認定は、県全体では8月までで1,701件、本市では現在のところ4件で、業種は、自動車販売業が2件、建設業、旅行代理業が1件ずつである。本市での経営安定関連保証の認定については、平成22年度は385件、23年度は8月現在で105件で、今後とも経営安定化資金を中心とした融資あっせんを実施するとともに、商工会議所等と連携して、震災の影響に関するアンケート調査を市内企業を対象に実施するなどして、実態把握に努めたい。

人事議案

■大牟田市農業委員会委員の推薦について



今村智津子
議員

9月12日の本会議において、今村智津子議員を推薦することを可決しました。

■人権擁護委員候補者の推薦について

9月27日の本会議において、一ノ瀬彰子氏（大字倉永）を推薦することに異議なき旨答申しました。

代表質問



市の財政に合った 事業計画の推進を

自由民主党議員団 入江 裕二郎議員

問 市長は、市政公約に世界遺産の登録を掲げているが、本登録が最終目標なのか。市民に、我がまちへの愛着と誇りのシビックプライドを持ってもらうことが最終目標でなければならないと考える。27年度までに何もかも整備しなければならないような勢いを感じるが、市の財政にあったスピードで整備を図るべきではないか。

答 8県12市による登録推進協議会の構成自治体での本登録を目指している。三池炭鉱は欠くことのできない重要な構成資産であり、遺産群の申請自体に影響が出ないよう、本市も早急な取り組みが必要である。

シビックプライドは、10年先、20年先のまちづくりの原動力として、大きな力を発揮することができると考えている。

問 職員数適正化のペースが遅い。計画通り進めても類似団体に届かないと思うが、もっと厳しい職員数の見直しをするべきではないか。

答 計画的な事務事業見直しの観点に立った職員数の削減を図ることで目標値を着実に達成し、少数精鋭体制の確立による総人件費の抑制に取り組みたい。

問 レマン跡活用は、市の計画の押しつけのように見えるが、実施設計を凍結する考えはないか。交流施設は、新栄町駅前地区再開発の再開発ビルに入れるべきではないか。

答 再開発事業は、まだ構想段階であり、実現性・実効性のある事業の組み立てにはもうしばらく時間が必要だと考える。公共と民間の協働により、まちづくりを進めていくことが肝要であり、(仮称)中心市街地にぎわい交流施設の計画は、引き続き推進していきたい。

問 地域のまちづくりへの理解を促すということで職員研修が実施されているが、それだけで終わらせては市民との協働にはならない。市職員全員を地域に張り付けるようなことは考えていないのか。

答 今後、さらに多くの職員が、住民全員の参加を目指す組織である校区まちづくり協議会にかかわりを持てるよう促進に努めながら、地域の一住民としての役割を担い、住みよい地域づくりに努めるよう取り組みたい。



住宅リフォーム 助成制度の実現を

日本共産党議員団 高口 講治議員

問 国政・暮らしをどう認識し、予算編成に臨むのか。

答 市民生活は厳しい状況。自治体は市民生活の安定に努める責務があり、国政運営に十分注視してまちづくりを進めたい。また、財政構造強化のために財政構造強化指針を策定し、抜本的な財政構造改革と財政規律の確保を図る中で、自主財源確保や経常経費・総人件費の抑制、3大プロジェクトなど社会資本の有効活用に取り組む。

問 住宅リフォーム助成制度の実現を求めたいがどうか。

答 実施自治体は全国に広がっている。福岡県内では7つの市が実施中であり、この7市を含め、昨年度は都市市と日南市、今年度は筑後市と筑紫野市を調査した。その結果、需要を喚起し消費拡大に結びつき、生活環境の向上や経済対策、雇用創出、関連業種への経済波及効果が見込まれると認識する。今後、人的体制や実施手法の検討等が必要であり、新年度予算を私(古賀市長)が編成できるならば、その可否については検討していきたい。

問 RDF発電事業の見通しと次期事業計画を聞きたい。

答 RDF搬入量の減少や補修費など不確定な要素もあり、事業計画の改定もあるものと考え。次期事業計画は、多くの検討課題が発生すると考



えられるが、事業継続の結論は、平成27年3月までに出すことになっている。

問 次期介護保険事業計画と包括ケアシステムの評価は。

答 基本目標は、高齢者の暮らしを支える体制づくり、自立生活の推進、介護保険事業の円滑な運営の3点である。包括ケアシステムの24時間対応サービスは、モデル都市としてやっている。認知症施策総合推進事業や地域支え合い事業など、地域包括支援センターを核として推進したい。

問 新栄町駅前地区再開発構想の妥当性と市の関わりは。

答 市のまちづくり計画と方向性が同じであり、事業の実現性や実効性が確認されれば、市の中心市街地活性化基本計画に組み入れる。



代表質問



安心して生活できる
大牟田へ

公明党議員団 平山伸二議員

問 現政権の国政運営について、市長の見解を聞きたい。

答 新成長戦略の推進や地域主権改革などについては一定評価する一方、復興の財源として所得税などの臨時増税を目指す動きなど、企業活動や市民生活に影響を及ぼすおそれもあり、政権運営を見守りたい。住民に身近な基礎自治体として、住民の福祉の増進を図り、市民生活の安定に努めるために国政運営を注視し、総合計画に掲げる三つの都市像の実現に向け邁進していきたい。

問 本市のPRE（公有資産）戦略の取り組み状況について聞きたい。

答 平成19年度から22年度までの4年間で7億2,600万円を売却し、8月末現在、旧三里小学校の校舎部分を含め3物件、常時公募で2物件を売却し、市財政に大きく寄与している。売り出し後5年以上経過の物件のうち、売却できないものは定期借地権等を活用した貸し付けの導入の検討も行うこととしている。

問 国民健康保険財政と健康づくりについて聞きたい。

答 国保財政の安定化を図る必要があり、国・県に対し、引き続き財政支援の強化・充実を強く要請し、医療制度改革についても注視していきたい。被保険者の健康づくりに対する取り組みが医療費の適正化を推進し、国保財政運営の安定化に寄与すると考えており、今後もより効果的な健康づくり事業に取り組む。

問 市民生活の環境保全、安心・安全な住環境のために、空き家等の適正管理に関する条例を制定してはどうか。

答 強制力のない条例より、指導や助成制度による誘導策がより効果的と考えており、適切な維持管理と所有者の管理責任について、一層啓発周知に努めていきたい。

問 大牟田文化会館の駐車場増設と大ホールのエレベーターの設置について聞きたい。

答 敷地内を再整備し、駐車可能台数が増やせないか検討している。エレベーター設置はスペースや費用面で、現時点では非常に厳しいと考える。



大牟田文化会館の駐車場



脱原発のまちづくりを宣言し
新エネルギー産業の振興を

社民・民主・護憲クラブ 平山光子議員

問 原発事故は、取り返しのつかないことだと明らかになった。市民生活を守る自治体として、また、次世代エネルギーパーク計画が国の認定を受け、新エネルギー産業の振興のまちとして、他市に先駆けて脱原発のまちづくり宣言を行い、アピールしてはどうか。

答 今後の原発政策やエネルギー政策に関する国の動向を十分注視しながら、本市におけるこれまでの取り組みも踏まえ、適切な対応を図っていきたい。

問 社会全体で、次代を担う子どもを安心して生み育てることができ環境整備が、喫緊の課題となっている。法に定められた特定事業主行動計画の実施や、意識改革のための研修の状況はどうか。

答 推進体制や制度の充実を図っているが、男性職員の特別休暇や育休取得などは目標を達成していない。一層の制度の周知に努めたい。研修は機会をとらえ実施している。



つどいの広場

問 近年、夏場の異常高温による猛暑被害が深刻である。子ども達の健康を守り、学習効果を上げるためにも、小・中学校の普通教室にエアコンや扇風機設置等の早急な対策が必要だ。教育委員会としての考えを聞きたい。

答 学校教室の調査報告によると、9月でも最高で38℃、平均35℃だった。必要性は認識し、国・県に要望している。国の予算では、平成27年度までに耐震化対策にめどがつき、その後に空調機設置等にシフトされる見込みで、現在も各学校の予算で個別の状況に応じている。

問 全国的に教職員の病休・休職や定年前退職が増えていく。多忙化が進み、福岡県でも全く休憩時間のない教職員の割合が4人に1人、休憩時間がとれているのは10人に1人にすぎない。教育委員会の見解は。

答 教職員の健康は教育活動上、重要であり、病気等の早期発見・早期治療に努めるよう指導している。超勤縮減についても、さらなる業務の効率化等に取り組む。



財政の再建なくして 大牟田の再生なし

自由民主党議員団 塚本二作議員

問 市長としての資質・心構えについて聞きたい。

答 重要な資質は、先見性・情熱・統率力と考える。市長として、情熱・判断力・忍耐力を心構えとしている。

問 持続的な健全財政を達成できない理由は何か。

答 歳入面では、国の三位一体改革による地方交付税の大幅な減や人口減少に伴う市税収入の減、歳出面では、生活保護を初めとする社会保障費の増が原因と考える。

問 今回示された財政構造強化指針に基づく中期の財政計画を策定する考えはないか。

答 今回は、財政構造を強化するためのルールを示した指針を策定したが、次の段階として、黒字基調の健全財政を確実に進めるための中期計画づくりも視野に、当面、財政構造強化指針に沿って健全化を進めたい。



世界遺産登録に多額をかけず 福祉や教育に予算を使うべき

日本共産党議員団 橋積和雄議員

問 財政状況が厳しい今日、多額を要する世界遺産登録計画について、大切な税金は学校教室の環境整備などに使ってほしいなどの市民意見が多数寄せられている。

世界遺産登録には、十分な市民理解・合意が必要だ。

市長の見解を聞きたい。

答 世界遺産本登録には、市民合意の上で市民総意の盛り上がりが必要だと考えており、今後も講座の開催や冊子の配布などを通して、市民への周知を図りたい。

また、市内に現存する近代化産業遺産をまちづくりを活用するため、近代化産業遺産を活用したまちづくりプランを策定し、今後、パブリックコメントによる市民の皆様のご意見、議会の意見などを反映しながら、充実した計画となるよう取り組んでいきたい。



熱中症対策としての ミストシャワーの設置を

公明党議員団 今村智津子議員

問 熱中症対策が問題になっている近年、公共の場でのミストシャワーの設置が増加しており、ヒートアイランド対策としても注目を集めている。設置費用が安価であり、ランニングコストも一時間で約 5.1 円と安い、学

校への設置について見解を聞きたい。

答 ミストシャワーについては、商品の種類や価格、メーカーや流通経路のほか、学校に設置した場合の効果などを調べている。その中では、直接の効果は限定的だが、暑さ対策の注意喚起を図る取り組みとして一定の効果は期待でき、取り付けが比較的簡単で安価な商品もあるが、耐用年数、流通経路等に課題が見受けられるため、今後さらなる調査を行い、一定の調査結果をまとめた上で、学校に情報提供を行っていきたい。



快適な教育環境の整備と 市民活動補償制度の導入を

社民・民主・護憲クラブ 森田義孝議員

問 快適な環境のもとで授業を受けられる対策として、エアコン設置を含めた基本的な考え方を聞きたい。

答 子供たちの健康管理と学習の効率化の観点から、空調設備の整備は必要であると認識するが、現在、学校施

設の耐震化を優先して取り組んでおり、また、補助率や補助対象経費に課題があることから、今後も国や県の動向等も注視しながら、引き続き検討していきたい。

問 市民が安心して活動できる環境づくりとして、市民ボランティア活動支援としての市民活動補償制度導入の考えを聞きたい。

答 地域住民自らの自主的な活動については、行政としても支援していく認識であり、今後、支援制度を検討していきたい。



夢のあるまちづくりと地域の活性化 安心して暮らせるまちづくりについて

自由民主党議員団 田中正繁議員

問 現在進められている三池港港湾計画の進捗状況について聞きたい。

答 港周辺の臨港道路や公共埠頭の整備、多目的クレーンの設置が行われ、今後、コンテナヤードの拡張整備や

予備クレーンの増設、小型船だまりの整備を予定。

問 新栄町駅前地区市街地再開発構想が民間主導で進んでいるが、市として同地区の環境整備をどう図るのか。

答 交通の拠点機能を生かし、街なか居住を推進していることから、レマン跡を活用した施設を整備する。

問 中学校給食の早期実現と民間委託について聞きたい。

答 給食実施に向けては、多くの方の期待に応えられるよう、スピードを上げて取り組む。また、民間委託についても基礎調査の中で総合的に検討していく。



行政がリーダーシップをとり 新幹線新大牟田駅の有効活用を

自由民主党議員団 森 竜子議員

問 九州新幹線新大牟田駅開業後の半年をどう総括し、今後のまちづくりに生かすのか。また、多額の予算を投じる観光情報発信等施設は、単なる観光案内所ではなく、市民に愛される施設を目指すべきだと思うがどうか。

答 今後100年のまちづくりの基礎となるインフラ整備であり、さらなるPRと利用促進に努める。駐車場も、JRの割引切符発売と同時期に値下げを予定。駅に人が集い、交流できる仕掛けづくりを進めたい。

問 中学校給食のスタートは、平成27年度か。1日も早い実施をお願いしたい。

答 食育の観点や、財政的に将来の負担が重くない給食の提供方法を検討しており、有利な財源で施設をつくることを念頭に、27年度を目途に実施したい。



わくわくシティ基金は 本来のあるべき姿に

自由民主党議員団 境 公成議員

問 本市は21年度予算で、歳入欠陥補てん収入11億600万円を計上する中、わくわくシティ基金は議員提案で基金条例を廃止せず、取り崩し型に変更した。累積赤字が解消した今、本来のあるべき姿に戻すのが筋では

ないか。

答 今、基金残高は5,050万円ほどである。教育委員会としては、昨年度策定した大牟田市スポーツ振興計画や（仮称）大牟田市文化・芸術振興プランなど、文化・芸術・スポーツ分野の諸事業を推進する上で貴重な財源と認識する。条例で基金の額は1億円と定められているが、取り崩しているため、現在は半分になっている。条例により、必要であるときは基金に追加して積み立てることができることになっている。

インフォメーション

■決算特別委員会を開催

議員全員で構成する決算特別委員会（入江裕二郎委員長、古庄和秀副委員長）を設置し、平成22年度一般会計などの決算議案10件を、10月24日から28日までの5日間で審査しました。

■次の定例会は12月です

詳細については、11月上旬に議会事務局までお問い合わせ下さい。

また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）、または市民生活課（2階）奥の階段からお上がり下さい。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧下さい。12月上旬から閲覧できます。

ホームページでも12月上旬から閲覧・検索ができます。



大牟田市への行政視察

～他都市から注目されている大牟田市の取り組みは？～

毎年、全国各地からたくさんの方が大牟田市の取り組みを参考にしたいということで視察に来られています。

視察される項目で多いのは、地域認知症ケアコミュニティ推進事業、メガソーラー発電、議会改革などです。

他都市の皆さんが関心を寄せているこれらの取り組みの中で、今回は地域認知症ケアコミュニティ推進事業についてご紹介します。



熊本県荒尾市からの行政視察

■地域認知症ケアコミュニティ推進事業

大牟田市では、認知症の人が住み慣れたまちで安心して「その人らしく暮らす」ことができるよう、家族や地域、介護に関わる関係機関と行政が手を携え、地域認知症ケアコミュニティ推進事業として、認知症の人を地域で支えるまちづくりに取り組んでいます。

■具体的な活動

本市の認知症対策は、市医師会等との連携による認知症の早期発見・診断のための取り組みや、認知症コーディネーター



徘徊模擬訓練

という人材育成を核に、徘徊模擬訓練や子どもたちと学ぶ認知症の絵本教室といった地域への理解啓発事業を含めて、総合的に推進をしています。



絵本教室

■活動拠点

交流施設に地域密着型サービスを併設し、市内に22ある小学校区と同数以上の小規模多機能型居宅介護施設と、校区に2カ所以上の交流拠点を整備しています。こうして、認知症の人の初期から最期までの支援を地域ぐるみで行う基盤整備を整えています。

■これからの取り組みと課題

高齢者の方が多い本市では、小学校区という日常生活圏域を単位とした交流拠点からの地域づくりがますます重要となります。これが、本市の認知症地域包括ケアの実現のためには、欠かせないビジョンといえます。

さらに、認知症予防からターミナル（終末期）まで、いつでも、どこでも、誰といても、認知症の人とその家族に対する切れ間ない支援体制を構築する、すなわち状況に応じた適切な支援こそが、これからの大牟田市における明確な課題であり、終わりのないテーマといえるのではないのでしょうか。

他議会からの行政視察（8月～9月）

【8/1】岐阜県羽島市（新大牟田駅周辺整備）【8/3】岡山県市議会議長会（議会運営）、宮崎県宮崎市（エコタウン事業）【8/4】大阪府箕面市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）【8/8】鹿児島県始良市（段ボールコンポスト、徘徊模擬訓練）【8/18】京都府八幡市（議会基本条例）【8/25】奈良県橿原市（老朽危険家屋等除却促進事業）【8/31】京都府宇治市（議会改革、議会運営）【9/29】熊本県荒尾市（議会改革）

編集後記

市内8カ所での議会報告会が終了しました。ご出席ありがとうございました。いただいた貴重な意見を糧としてさらに研鑽を積み、議論を尽くして、もっと住みよいまちにしていかなければなりません。

地方分権時代、地域力が問われています。豊かなまちづくりにつながる地域力、これは議員はもちろんですが、市民の皆様方、お一人お一人にも求められています。

(M)

■編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子
【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800
FAX 0944-41-2880
E-mail gikajimu01@city.omuta.lg.jp